取扱説明書

気化熱式省エネ冷風機

EAC 静音タイプ

NIHON TECHNO ENG

取扱説明書は大切に保管してください。
ご使用前に取扱説明書をよくお読み頂き、
使用方法を理解してからお使いください。

目次

ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。

CONTENTS 01 カスタマーサービスセンターのご案内 ……P2

CONTENTS 02 安全上のご注意 ……P3

CONTENTS 03 使用上のご注意 ……P7

CONTENTS 04 製品について ……P9

CONTENTS 05 仕様……P9

CONTENTS 06 使用に適した場所 ……P9

CONTENTS 07 動作環境について ……P10

CONTENTS 08 上下風向バー取り付け方 ……P10

CONTENTS 09 給水方法……P10

CONTENTS 10 各部の名称……P11

CONTENTS 11 梱包物の確認……P11

CONTENTS 12 回路部分の図解……P12

CONTENTS 13 操作パネルについて ……P13

CONTENTS 14 操作方法……P13

CONTENTS 15 リモコン操作について ……P13

CONTENTS 16 お手入れ／メンテナンスの方法 ……P15

CONTENTS 17 よくある問題と解決方法 ……P16

01 カスタマーサービスセンターのご案内

お買い上げいただきました商品についてのお問い合わせ、ご相談は下記の「カスタマーサービスセンター」へお願いいたします。

日本テクノ株式会社
www.n-techno.co.jp
東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 51 階

0120-107-428
9:30～17:00（土・日・祝日を除く）

お問い合わせの際、お客様へ確実に迅速に対応させていただくため、あらかじめ下記の事項をご確認の上、ご相談ください。

①商品名
②シリアル番号
③ご購入年月日
④ご購入先

日本テクノエンジ冷風機をよりご理解いただくためにホームページもご参照ください。
日本テクノエンジインターネットホームページ（http://www.n-technoeng.co.jp）

02 安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、さまざまな表示をしています。
内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●「表示」を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。
注意	「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、「図記号」で区分して説明しています。

禁止	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。
必須	「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

＊ 仕様変更などにより、本書のイラストや内容が一部実機と異なる場合がありますのでご了承ください。
＊ 保証書はよくお読みいただき表面のお買い上げ日、販売店の記入をご確認ください。
＊ 本書は大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにお読みください。なお本機の転売や譲渡等をされる場合は必ず添付してください。

⚠ 警告

電源プラグやコード、アースについて

禁止

1. 運転中にプラグを抜かない。（発熱による火災や感電の原因となります）
2. ぬれた手で抜き差ししない。（感電の原因となります）
3. コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V 以外で使わない。
   （たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります）
4. 電源コードを持って抜かない。（断線による発熱や発火の原因となります）
5. 破損するようなことはしない。
   ※傷付ける、加工する、無理に曲げる。引っ張る、ねじる、束ねる、重い物を載せるなど。
   （傷んだまま使用すると、感電やショート、火災の原因となります）

必須

1. 電源プラグは、根元まで差し込む。
   ※傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使わない。
   （差し込みが不完全な場合、感電やショート、発熱による火災の原因となります）
2. 電源プラグのホコリなどは、定期的に取る。
   ※電源プラグを抜き、乾いた布でふく。
   ※長期間使わないときは、電源プラグを抜く。
   （ホコリがたまり、湿気などで絶縁不良になると火災の原因となります）
3. お手入れ・点検・移動時には必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。
   （感電やけがの原因となります）
4. アースを正しく接続して使用すること。アースの接続方法が誤っていると感電や火災の原因となる場合がある。
5. アース線の付いたコンセントを使用すること。（漏電の原因となります）

異常・故障時には直ちに使用を中止する

注意

異常・故障例

1. パネル取付け後、スイッチを入れても運転しない場合。
2. コードを動かすと通電したり、しなかったりする場合。
3. 運転中に異常な音や振動がする場合。
4. 本体ケースが変形していたり異常に熱い場合。
5. こげ臭いニオイがする場合。

（異常のまま運転を続けると、故障や感電、発煙、火災などの原因となります）
お買い上げの販売店または日本テクノカスタマーサービスセンターにご相談ください。

こんな場所では使用しない

1. 油分が浮遊する場所。（ひび割れによるけがの原因となります）
2. 油や可燃性ガスなどを使用したり、もれるおそれのある場所。
3. 腐食性ガスや金属製のホコリのある場所。
   （引火や本体への吸引による発火や発煙の原因となります）
4. 浴室など、高温や多湿、水のかかる場所。（漏電による火災や感電の原因となります）
5. 幼児の手の届くところ。（感電やけがの原因となります）
6. 床が不安定なところ。倒れたときは、すぐに本体を起こしてください。
   （転倒すると水がこぼれて周辺などをぬらしたり、火災や感電の原因となります）

ご使用時

1. 塩素系や酸性の洗剤は使わない。（洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害す原因とな
2. ります）
3. 吸気口や送風口に指や棒などを入れないでください。
   可燃性のもの（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない。ベンジンやシンナーで本体をふかない。（感電や引火、ひび割れの原因となります）
4. 火の付いたタバコや線香などを近づけない。（発火の原因となります）
5. お客様自身で分解や改造、修理はしない。（火災や感電、けがの原因となります）
   修理はお買い上げの販売店または日本テクノカスタマーサービスセンターにご相談ください。

⚠ 注意

本体

禁止

1. 吸気口や送風口を、洗濯物や布、カーテンなどでふさがない。
   （空気の循環が悪くなり、発熱や発火の原因となります）
2. 本体の上に乗らない、よりかからない。（落下や転倒などによるけがの原因となります）
3. 本体を倒してフィルター類を外さない。

ご使用時

禁止

1. 水タンクに水以外のものを入れないこと。
2. 水道水以外給水をしないこと。
3. 洗剤、その他の薬剤を水タンクに入れないこと。
4. 水タンクの水を飲料用に使用しない。また、動植物にも与えない。
   （体調不良や悪影響を及ぼす原因となります）
5. 化粧品など微粉体を本体の近くで使用しない。（感電や故障の原因となります）
6. 発煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない。
   ※殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転する。
   （蓄積した薬剤成分が、送風口から放出され、健康を害すおそれがあります）
7. 水タンクへは側面給水口から水を入れること。給水口に無理な力を加えないこと。
8. 平らで安定した場所以外には設置しないでください。

注意

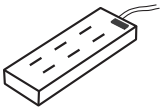
1. 燃焼器具と一緒に使うときはこまめに換気をする。
   本製品では一酸化炭素を除去することはできません。
2. 移動するときは運転を停止し、水タンクの水を捨てる。
   （水がもれて周辺などをぬらしたり、感電や漏電の原因となります）
3. ペットの近くで使用する場合、ペットが本体に尿をかけたり、電源コードをかじらないよう注意する。（感電や発火の原因となります）
   万一上記のようなことが発生した場合は、運転を停止し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または日本テクノカスタマーサービスセンターにご相談ください。
4. 毎週１回はタンクの本体内部を清潔にする。
   ※タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ換える。
   ※本体内部は、定期的にお手入れする。（汚れや水アカでカビや雑菌が繁殖すると、健康を害す原因となります）
   体調に異常があったときは、医師にご相談ください。
5. 移動時、転倒には十分に注意する。（けがの原因となります）
6. 移動時以外はキャスターのロックをかけてください。

03 使用上のご注意

・専門家または許可を受けている修理担当者以外の人が、本体の修理をしないこと。また、改造をしないこと。
・火災や異常動作の原因となり、ケガをする恐れがあります。

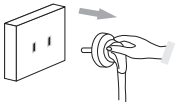
・交流100Vの電圧以外は使用しないこと。火災や感電の危険性が高くなります。

・定格電流 5A 以上のコンセントを単独で使用すること。
・他の電気製品と共同で使用すると、プラグ盤が過熱して火災が発生する恐れがあります。

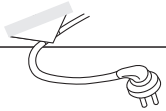


・本製品は、確実に接地するために、単相2極接地極付のコンセントを必ず使用すること。接地極が付いていないと本体や他の金属への静電誘導の原因となります。
・故障や漏電の場合、感電する危険があります。

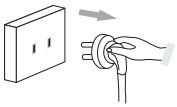
・電源プラグを抜く時はプラグ部分を持って抜くこと。電源コードを持って抜いたり、ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしたりしてはいけません。
・感電やショート、火災の原因となります。



・電源コードを傷つけたり、破損したり、強く曲げたり、ねじったり、しばったりしないこと。電源コードの上に重いものを載せないこと。電源コードが劣化している。結び目ができている。破損しているといった場合は、すぐに使用をやめてください。
・電源コードが破損していると、火災や感電の恐れがあります。



・水タンクや冷却パッドのお手入れをする時や、本体を移動する時、また長期間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜くこと。
・感電やケガをする恐れがあります。



・送風口、吸気口に異物を入れてはいけません。本体に子供が近付かないようにすること。子供が本体に異物を差し込まないように気を付けること。

・45℃以上の水を使用してはいけません。
・冷却パッドが溶けたり、プラスチック製品が変形・破損したりする恐れがあり、冷却効果が低下する原因となります。

直射日光に長時間当てることはしないでください。

雨天の時は屋外で使用しないこと。（ショート、感電、火災のおそれがあります）

本製品は屋外使用に適しております。

Evaporative Air Cooler

型式	ZC-72Y3	シリアル番号	ENG-1405-0001
最大風量	6800m³/h	消費電力	299W
重量	39kg	電圧	100V
管理番号	20140325	周波数	50Hz

1. 修理メンテナンスをする時は必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源コードを抜いて行ってください。
2. 冷却エレメントには高圧水をかけないでください。

SGS

日本テクノエンジ株式会社

Evaporative Air Cooler

型式	ZC-72Y3	シリアル番号	ENG-1405-0001
最大風量	6800m³/h	消費電力	353W
重量	39kg	電圧	100V
管理番号	20140325	周波数	60Hz

1. 修理メンテナンスをする時は必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源コードを抜いて行ってください。
2. 冷却エレメントには高圧水をかけないでください。

SGS

日本テクノエンジ株式会社

04 製品について

気化熱式冷風機には以下の特徴があります。
省エネ：従来の冷房と比較して消費電力が少ないです。
環境保護：作動中に有害物質を外部に排出しません。またフロンガスを使用していません。
効率性：最小限のエネルギーで、最大限の冷風を実現します。

気化熱式冷風機は、ファンを使用し高速回転で大きな気流を発生させ、水タンクに入った水が分水装置によって特殊なフィルターに均一に配水され、気化熱によって作られた冷風が回転する軸流ファンを通じて送風口から送り出されます。

05 仕様

商品名	EAC3.2A	EAC3.6A	最大風量	6800㎥／時
電圧／周波数	100V／ 50Hz	100V／ 60Hz	水容量	120リットル
定格消費電力	299W	353W	本体寸法	890×500×1380mm
水消費量	6～11.5リットル／時		本体重量	39kg
空気吹出口の寸法	590×635mm		送風形態	軸流
運転音	56dB			

06 使用に適した場所

優れた冷却・加湿機能に加え、クリーンで省エネな送風機能も備えた気化熱式冷風機は、換気や冷風が必要なさまざまな場所に適しています。本製品は主に以下のような場所で使用されることを想定しています。

1. 各種産業・製造の工場
2. 病院、診療所、学校、待合室、インターネットカフェ、ショッピングモール、スーパーマーケット、クリーニング店などの出入口
3. 厨房、青果市場、大型娯楽施設、地下駐車場、駅、その他公共施設
4. 温室、花き栽培、畜産、養殖、その他農園
5. 高い湿度が求められる屋内施設での使用

07 動作環境について

1. 周囲の気温：18℃～ 45℃。
2. 水道水を使用すること。水温：10℃～ 45℃。
3. 定格電圧 100V で使用すること。
4. 腐食性ガスが発生しない場所で使用すること。

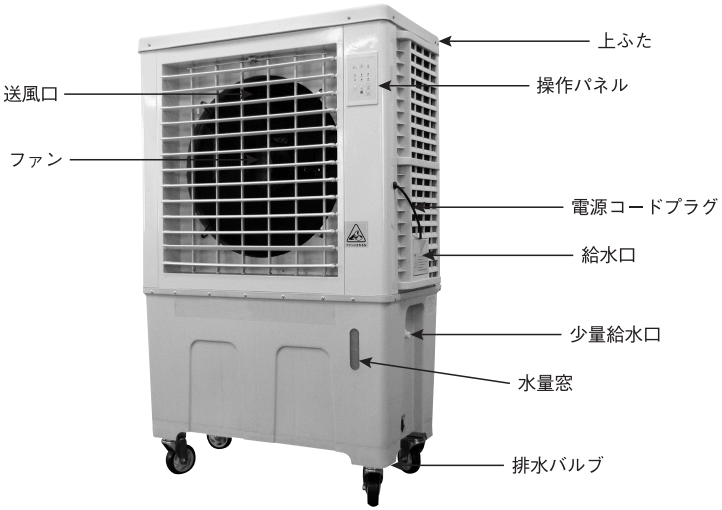
08 上下風向バー取り付け方

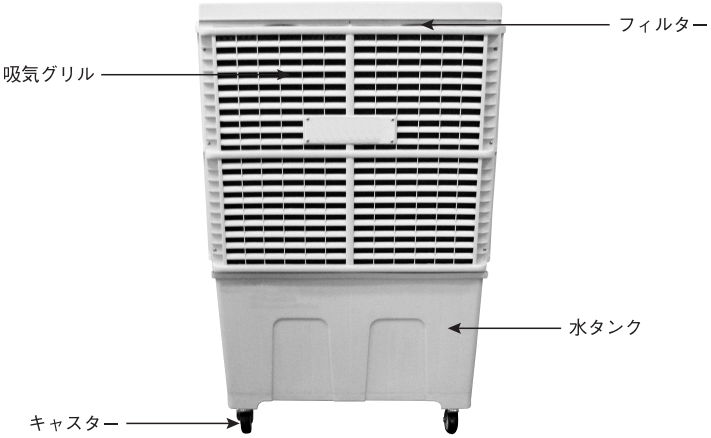
09 給水方法

1. 給水口を開き、ホース又はじょうろで水タンクへ水道水を入れる。
2. 少量給水口は高水位に保つための給水口です。短時間の場合は使用しなくても支障はありません。

1. 水のあふれに注意すること。
2. 給水口に手を挟まないよう注意すること。
3. 風呂の残り湯、河川水、海水、井戸水などを使用しないこと。
4. 洗剤、その他の薬剤を水タンクに入れないこと。

10 各部の名称

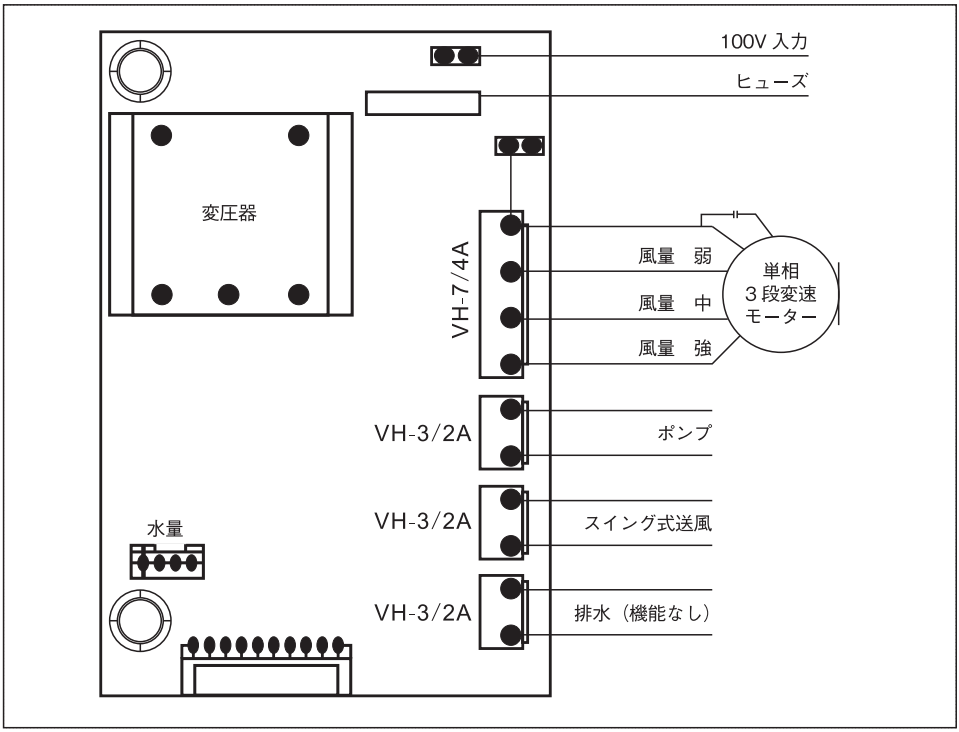




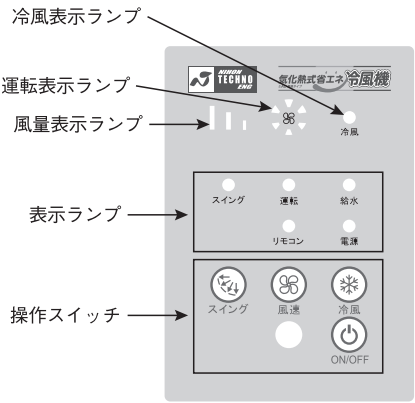
11 梱包物の確認

シリアルナンバー	名称	数量
1	取扱説明書	1

12 回路部分の図解


100V 入力
ヒューズ
変圧器
VH-7/4A
風量　弱
風量　中
風量　強
単相
3段変速
モーター
VH-3/2A
ポンプ
VH-3/2A
スイング式送風
水量
VH-3/2A
排水（機能なし）

13 操作パネルについて



LED ランプの説明：風量ランプ（強、中、弱）、運転ランプ、冷風ランプ、スイングランプ、給水ランプ、電源ランプ

操作スイッチについて
スイッチの名称:スイングスイッチ、風速スイッチ、冷風スイッチ、電源スイッチ

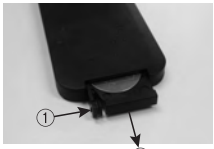
14 操作方法

1. 電源に接続されているとき電源ランプが点灯します。
2. 電源スイッチ：初期設定では、風量は中、風向きはスイングに設定されています。２回目以降は、スイッチを入れると前回設定時の風量と風向きで作動します。スイッチを切ると、すべての電源が切れます。（電源プラグをコンセントから抜くとリセットされます）
3. 冷風スイッチ：水量が低い場合でも、設定した風量と風向きで作動はしますが、冷風ランプは点灯せず、給水ランプが点滅して短い警告音が鳴ります。その後も給水ランプの点滅と警告音が繰り返されます。水量が高い場合、最初に冷風ランプが点灯し、設定した風量と風向きのランプが点滅します。約 30 秒後、設定した風量と風向きで作動します。
4. 風量スイッチ：風量を調節することができます。（強→中→弱→強）
5. スイングスイッチ：スイングを作動・停止することができます。機械が作動していない時はスイングスイッチはロックがかかり押すことができません。

15 リモコン操作について

操作スイッチについて
スイッチの名称：風量スイッチ（弱、中、強）、冷風スイッチ、スイングスイッチ、電源スイッチ

リチウムコイン電池（CR2025）交換について
①つまみを押す
②電池キャップを引き出す



⚠ 警告

内蔵電池について

禁止

1. 電池を水・海水・しょうゆなどで濡らさない。
2. ストーブなどの熱源のそばに放置しない。
3. 火の中に入れたり、加熱、分解、改造しない。
4. 電池に直接はんだ付けをしない。
5. ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
6. 電池に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。
7. 針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない。

必須

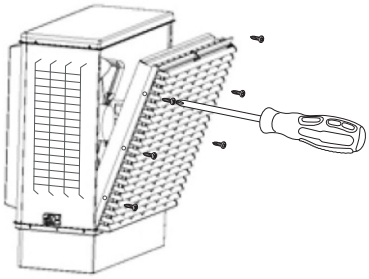
1. 乳幼児の手の届かないところに置く。
2. 電子レンジや高圧容器に入れない。
3. 液漏れ、異臭、発熱、変色、変形があるときは使用しない。
4. 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
5. 電池の液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、すぐに医師の治療を受ける。

注意

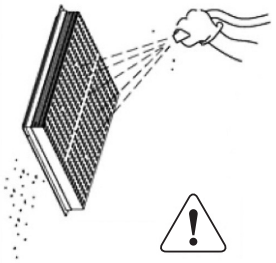
1. 直射日光の強いところ、炎天下の車内など、高温になる場所に放置しない。
2. 使用の場合に、異臭、発熱などの異常があるときは、使用しないでお買い上げ店に相談する。
3. 電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す。

16 お手入れ／メンテナンスの方法

◆冷却パッドと防塵フィルターを洗う

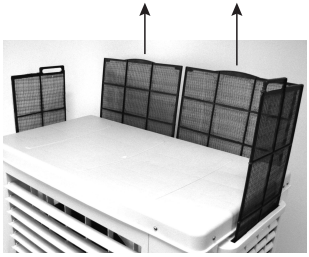


電源プラグを抜き、ドライバーを使って吸気グリル左右部にあるねじ（6 本）を外します。冷却パッドの上部を持って引き出します（やや重いです）。



ホースなどを使う場合は水を強く当てないでください。酸性やアルカリ性の洗剤で冷却パッドを洗ってはいけません。硬いブラシは使わないこと。

防塵フィルターを引き出します。



防塵フィルターのお手入れは週 1 回が目安です。
硬いブラシは使わないこと。

◆水タンクを洗う

1. 電源プラグを抜き、吸気グリル左右部にあるねじを外して吸気グリルを取り外します。
   ⚠吸気グリルを外した状態で運転しないこと。
2. 本体下部の排水バルブを手で回して外し、タンク内の水を抜きます。
3. 柔らかい布またはブラシでタンクの内部を拭きます。
4. 水でぬらした小さな布で水量センサーの汚れを拭き取ります。
   （強くこすらないでください。丁寧に取り扱いください）
5. 水ポンプとフィルターの汚れを拭き取ります。

◆本体内部をきれいにする

柔らかい布で拭きます（洗剤、ベンジンなどの揮発性溶剤、硬いブラシは使わないこと。誤ったお手入れ方法は機器の損傷や事故の原因となります）。

17 よくある問題と解決方法

症状	考えられる原因	解決方法
電源が入らない	1. 電源プラグが入っていない 2. スイッチが故障している 3. 漏電保護ヒューズが切れている	1. 電源プラグを確認してください 2. スイッチを交換してください 3. 漏電保護ヒューズを交換してください
ヒューズが頻繁に切れる	1. 浸水ポンプが破損している	1. 浸水ポンプを交換してください
水が漏れる	1. 本体が水平に置かれていない 2. 水タンクから水が漏れている 3. 少量給水口のボールバルブが破損している	1. 冷却パッドと防塵フィルターを洗うか交換してください 2. 排水バルブが割れている場合、交換してください 3. 少量給水口のボールバルブを交換してください
音が異常に大きい	1. ファンが汚れている、歪んでいる、または破損している 2. モーターが摩耗している 3. 空気送風、吸気口をふさいでいる	1. ファンを交換するか、留め具を調整してください 2. モーターを交換してください 3. 送風、吸気口を空けてください
風が出ない、または風量が少ない	1. 電源スイッチが破損している 2. ファンが作動していない	1. 電源スイッチを交換してください 2. モーターが故障していないか確認してください
冷風が出ない	1. 水が少ない（水タンクの水量レベルが低い） 2. ポンプが破損している 3. 冷風スイッチが破損している	1. 水タンクに水を入れてください 2. ポンプを交換してください 3. 冷風スイッチを交換してください
水タンク内部やフィルターに白い物質が付着している	1. ミネラルを多く含む水を使用している	1. 排水の回数を増やしてください

※上記の交換作業については、日本テクノカスタマーサービスセンターへご連絡ください。

MEMO

MEMO

日本テクノエンジ株式会社
本社　〒163-0650
東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 50 階
TEL.03-5909-1132　FAX.03-5909-5967

2014.6